1：50,000 地形図　NK－54－8－13
いくしゅんべつだけ　（夕張岳13号）

地すべり地形分布図　幾春別岳

Landslide Map of IKUSHUNBETSUDAKE

上芦別

141° 59′ 46″ 5
43° 20′ 8″ 8

142° 14′ 46″ 4
43° 20′ 8″ 8

岩見沢

山部

43° 10′ 8″ 9
141° 59′ 46″ 5

石狩鹿島

43° 10′ 8″ 9
142° 14′ 46″ 5

凡　例

輪郭構造
滑落崖と側方崖

- 新鮮なまたは開析されていない冠頂をもつ滑落崖
- 部分的に開析されている冠頂をもつ滑落崖
- 冠頂が著しく開析された滑落崖
- 冠頂が丸味をおびて不明瞭になった滑落崖
- 開析されて無くなってしまった冠頂・滑落崖の推定復元位置
- 共通の冠頂をもち、互いに反対方向を向く滑落崖
- 中・緩斜の流れ盤すべり面が地表に露出し、滑落崖にあたる急崖を呈しない斜面、冠頂は尾根の反対側斜面とすべり面との交線である。
- 後方崖、多重稜線等

移動体の輪郭・境界
- 後方に滑落崖があり、移動体の輪郭が明瞭ないし判定可能
- 後方の滑落崖は明瞭であるが、移動体の輪郭の判定が困難
- 滑落崖はほとんど開析されてしまったが過去の移動体の一部(不安定土塊)が残存している
- ほかの移動体や堆積物におおわれた部分
- 斜面体の移動の初期状態、基岩から分離していないとしても不安定域・移動域と推定される範囲
- 斜面移動体かどうか判定できない山体・小丘
- 脚部線・削剥域下限

内部構造
- 二次・小滑落崖、崖線の解析程度に応じて輪郭構造の場合と同様に表わす
- サブユニットの境界、内部(二次)移動体輪郭
- 移動体内の小尾根
- 幅の広い溝状凹地、亀裂
- 幅の狭い溝状凹地、亀裂
- 雁行亀裂
- 線状窪地・小谷底線、→は谷の出口または谷底の傾斜方向
- 池
- 水のない窪地
- 膨陸地の前線

移動方向等
移動体の主移動方向

- すべり
- クリープ(匍行)
- 流れ・押出し
- 落石など
- 前方への傾動または傾動を伴う移動とその方向
- 元の斜面傾斜と逆方向へ傾動した斜面の傾斜方向

その他
- 遷急線
- 活断層(地すべりを変位させている顕著な断層)
- 地層面等および節理・断裂の走向・傾斜

道路
- 高速道路
- 国道
- 主要地方道
- 一般地方道

索引図

砂川（留萌）	上芦別（旭川）	富良野
LM-897 岩見沢		LM-924 山部
（札幌）	（夕張岳）	
LM-898 夕張	LM-929 石狩鹿島	LM-925 石狩金山

（　）内は所属20万分１地勢図名

1：50,000　幾春別岳

1000m　0　1000　2000　3000

2010年８月13日発行　防災科学技術研究所

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の２万５千分の１地形図を使用した。
（承認番号　平21業使、第185-25388号）」

許可なく複製を禁ずる

防災科学技術研究所　National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention © 2010
防災科学技術研究所研究資料　第345号

調製　北海道地図株式会社東京支店

調査者　清水文健・井口　隆・大八木規夫
by Fumitake SHIMIZU, Takashi INOKUCHI and Norio OYAGI

LM－928